

姫路東芝電子部品株式会社サイトレポート情報

所在地 : 兵庫県姫路市網干区浜田1000番地

敷地面積: 25,049m²、建家面積: 9,156m²、緑化率20.03%

設立 : 1985年1月、正規従業員: 240人(2010年3月末現在)

主要製品: 半導体用リードフレーム、精密金型及び金型部品

ISO14001認証取得: 1998年9月(セミコンダクター社グループとしての統合認証
実施年月: 2007年8月)、ISO14001統合認証の有効期限: 2013年8月(2010年8月更新)、
ISO14001認証番号: EC98J2014



ごあいさつ

当社は、東芝グループの一員として環境基本方針である「“かけがえのない地球環境”を、健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立ち、環境への取り組みを最重要課題の一つと位置付け、ISO14001の環境マネジメントシステムをベースに「地球温暖化防止の推進」、「資源の有効利用推進」、「環境リスクの低減」、「環境意識の向上及び環境コミュニケーションの推進」などを環境目標に設定し、事業活動の中で、各項目の実施計画を策定し、目標達成に向けた取り組みを全社員で実施しています。



環境保全責任者 細見定樹

2009年度の環境の主な取組み

☆環境経営体制の構築

法令、条例等の順守と現場管理の強化

☆地球温暖化防止の推進

- ①CO₂排出量の年度目標: 3191.8t-CO₂/年以下 →実績: 3534.6t-CO₂/年(目標未達)
- ②CO₂排出量原単位の年度目標: 16.22t-CO₂/億素子以下 →実績: 15.15t-CO₂/億素子(目標達成)

☆資源の有効利用推進

- ①廃棄物総排出量の年度目標: 2,896t/年以下 →実績: 2,863t/年(目標達成)
- ②廃棄物総排出量原単位の年度目標: 12.53t/億素子以下 →実績: 12.26t/億素子(目標達成)
- ③廃棄物の最終処分率の年度目標: 0.5%未満 →実績: 0.033%(目標達成)
- ④電子マニフェストの運用開始(10月)

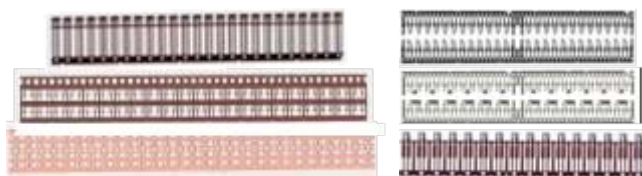
☆取引先に関する環境配慮

著しい環境側面登録の取引先に現地指導・支援(1社)、廃棄物委託先への現地確認(8社)

☆環境意識の向上

環境月間・3R推進月間・省エネ月間の各行事での標語募集・表彰式、環境新聞の発行、社長巡視等

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介



半導体用リードフレーム



精密金型

環境コミュニケーションの紹介

☆環境報告書2009の初版発行

☆行政主催行事への参画 : ひめじ環境フェスティバル
(姫路工場ブースに協力参加)

☆地域社会との協調 : 構外の美化清掃



姫路東芝電子部品株式会社 環境方針

－ 理念 －

姫路東芝電子部品株式会社は、東芝グループの環境基本方針である「“かけがえのない地球環境”を、健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立って、東芝グループ環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図ります。低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境活動により、持続可能な社会の実現に貢献します。

－ 方針 －

姫路東芝電子部品株式会社は、東芝セミコンダクター社グループの環境方針に基づき、世界文化遺産の「国宝姫路城」や豊かな流れの揖保川、そして瀬戸内海に隣接する自然環境の中で、半導体用部品・精密金型等を製造・販売する東芝セミコンダクター社グループの一員として、環境に配慮した“ものづくり”の推進を、経営の最重要課題の一つと位置付け、全社員（構内取引先の社員含む）で環境活動に取り組み、当社の環境経営体制及び循環型社会構築のため社会的責務を果たしてまいります。

1. 法令、当社が同意した業界などの指針及び自主基準など当社の環境側面に適用可能な法的及びその他の要求事項を順守すると共に、内部環境監査等の実施や活動のレビューにより環境マネジメントシステムの継続的な改善を行ないます。
2. 企業活動の実行においては、全ての事業プロセスにおける環境側面について、生物多様性を含む環境への影響を評価し、環境負荷の低減、汚染の予防などに関する環境目的及び目標を設定して、技術的、経済的に可能な範囲で積極的な環境施策を展開します。
 - (1) 地球温暖化防止の推進
動力設備及び製造設備等の省エネルギー化を図り、CO₂排出量の削減を行ないます。
 - (2) 資源の有効利用推進
廃棄物の再資源化、抑制、削減及び水資源の有効活用、製品の省資源化等を行ないます。
 - (3) 環境リスクの低減
製造工程から発生する排水設備等の運用管理と緊急時の想定訓練を行ないます。
 - (4) 環境意識の向上及び環境コミュニケーションの推進
環境行事による環境意識の向上を図ると共に、企業として地域社会との協調・連帯と社会貢献を進めていきます。

～この環境方針は、社内外に開示するとともに当社内で働くすべての人々に周知します～

2010年8月2日

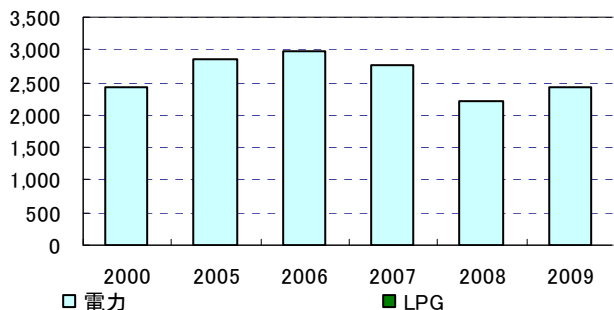
姫路東芝電子部品株式会社

環境保全責任者

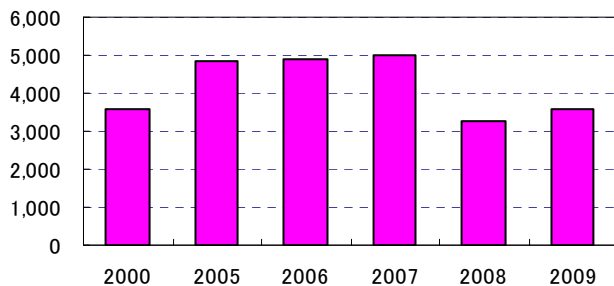
田見尾樹

環境負荷データ

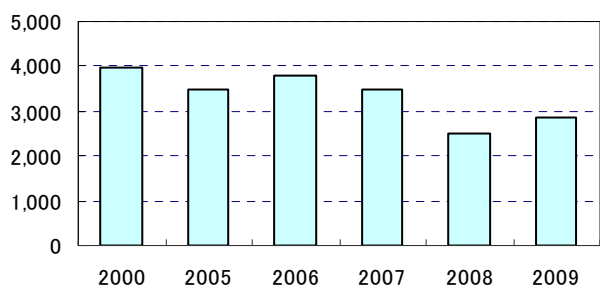
エネルギー使用量(単位:KL)



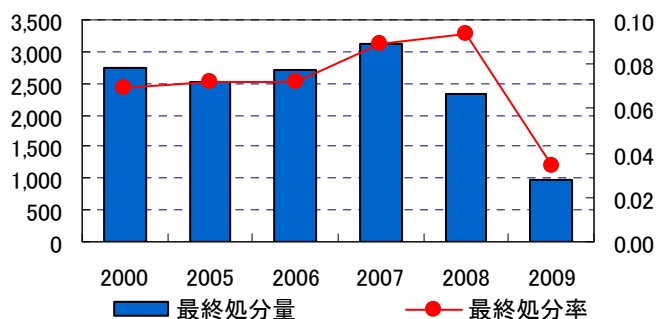
CO₂排出量(単位:トン-CO₂)



廃棄物総発生量(単位:トン)

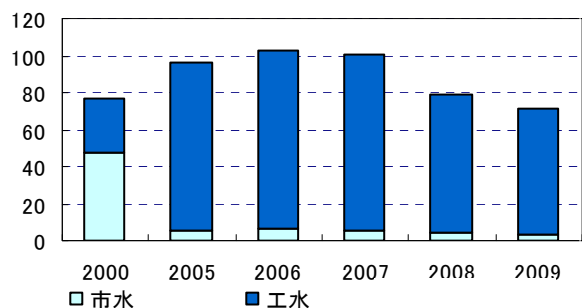


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:kg、%)

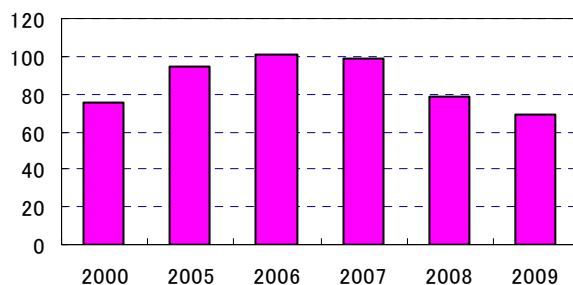


主な廃棄物名: 金属屑、廃油、廃プラスチック、汚泥、繊維屑等

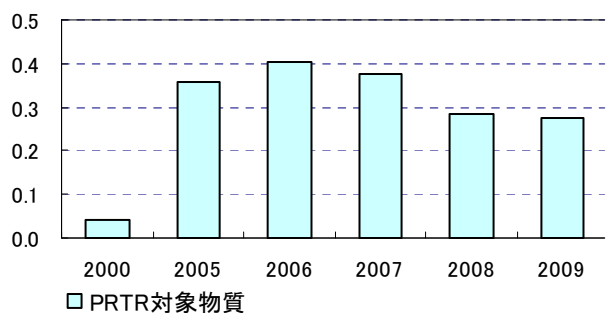
水の使用量(単位:千m³)



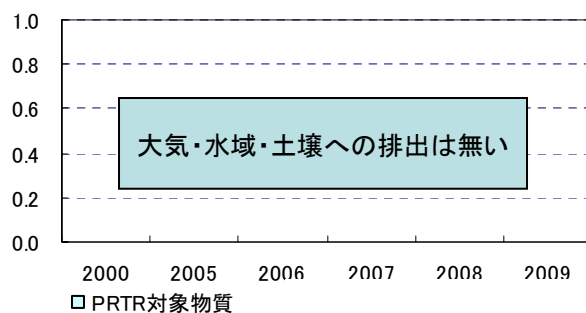
排水量(単位:千m³)



化学物質削減対象物質の取扱量推移(トン)



化学物質削減対象物質の排出量推移(トン)



主な化学物質: ホリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル、ホウ酸、鉛

遵法管理状況

＜大気測定結果＞特定施設なし

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	対象外	—	—	—
SOx(Nm3/h)	対象外	—	—	—
ばいじん(mg/Nm3)	対象外	—	—	—

＜排水測定結果＞特定施設なし

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	対象外	—	—	—
BOD(mg/ℓ)	対象外	—	—	—
COD(mg/ℓ)	対象外	—	—	—
SS(mg/ℓ)	対象外	—	—	—
N-ヘキサン(mg/ℓ)	対象外	—	—	—
ホウ酸(mg/ℓ)	対象外	—	—	—

＜騒音・振動測定結果＞特定施設なし

	測定場所・時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	65(条例規制値)	64	49.1	年2回
	敷地境界:夜	50(条例規制値)	49	47.5	年2回
振動(dB)	敷地境界:昼	対象外	—	—	—
	敷地境界:夜	対象外	—	—	—

＜その他測定結果＞特定施設なし

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	対象外	—	—	—
BOD(mg/ℓ)	対象外	—	—	—
SS(mg/ℓ)	対象外	—	—	—

＜環境事故・指導指摘・苦情の有無＞

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし